

## 市民意見と考え方

### A 運行計画（素案） 7件

	市民意見	考え方
1	<p>ゆずるバスを走らせる目的は何かを思い出してほしい。「高齢者をはじめとする住民の足を確保すること」を忘れてはいけない。（1件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オレンジゆずるバスは市民移動の利便性向上を目指し、買い物、通学、通勤、通院、お出かけなど、誰もが気軽に乗れるバスとして、利用者である住民が「バス交通を支える主体」としての意識を持ち、「自分たちで自分たちの足（＝バス交通）を守り育てていく」という理念のもと、運行を開始しています。</li> </ul> <p>約3年間の実証運行期間中は、「市民に愛され使いたくなるバス」として、毎年度、各種調査結果や市民意見をもとに運行内容の見直しを行い、月曜～土曜（平日）に関しては利用者が需要予測を上回り、また収支率の改善が図られていることから、平成25年5月20日より本格運行を開始しています。</p> <p>本格運行開始後、利用者数が1日あたり300人ほど増えており、1,700人を超える日もあります。特に高齢者の利用が多く、65歳以上のかたが約7割となっています。またオレンジゆずるバスでは70歳以上の高齢者のかたの運賃を半額にしています。</p> <p>一方、日曜・祝日に関しては利用者が需要予測を下回り、また収支率も目標を大きく下回っていることから休日運行の取り止めも検討されましたが、休日利用の主目的である「買物」に合わせたルートやダイヤの見直しにより平成25年5月26日より新たな実証運行を開始しています。</p>
2	<p>1年の単位でなく長期的な視点で捉えてほしい。（1件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成22年9月より約3年間の社会実験を行い、月曜～土曜（平日）に関しては利用者が需要予測を上回り、また収支率の改善が図られていることから、平成25年5月20日より本格運行を開始しています。</li> </ul> <p>一方、日曜・祝日に関しては利用者が需要予測を下回り、また収支率も目標を大きく下回っていることから休日運行の取り止めも検討されましたが、休日利用の主目的である「買物」に合わせたルートやダイヤの見直しにより平成25年5月26日より新たな実証運行を開始しています。実証運行の期間は1年間であるため、その都度評価、見直しが必要になります。</p>

3	現在の収支率では4月の見直しは当然。(2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が主体的に利用者数増加等に向けた改善策の行動を起こすことを前提にルート等を見直し、社会実験を次年度1年間のみ行います。また、改善がみられなければ次年度は廃止いたします。</li> </ul>
4	日曜祝日運行は廃止するべきである。(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が主体的に利用者数増加等に向けた改善策の行動を起こすことを前提に社会実験を1年間のみ行います。また、改善がみられなければ次年度は廃止いたします。</li> </ul>
5	利用者が少ないからと言われると、個人ではどうしようもありません。(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちでバス交通を維持・発展させるという意識を持ち、公共交通について地域で考え行動するという趣旨のもと、これまでも自治会で利用促進を行ってきた事例もあるように、市民が主体的に利用者数増加等に向けた改善策の行動を起こしてもらいたいと考えています。</li> </ul>
6	協議会の検討の際、財源確保があつての検討になっているように思います。『住宅地と箕面駅・かやの中央がつながるか』『利用客にとって使いやすいか』は基本もってほしいです。(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>運行にあたっては税負担が必要ですので、財源の確保も必要になってきます。その中で、利用客にとって使いやすいかを基本に市民の皆様の意見を取り入れ、運行計画を策定しています。</li> </ul>

## B 運行ルート 15件

市民意見		考え方
1	日曜日にも豊川住宅・外院方面からかやの中央にいけるようにしてほしいです。(2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルート変更による運行距離等の増加に伴う運行経費への影響等を考慮し、検討します。</li> </ul>
2	平日と日・祝を統一することで、バスを利用しやすい運行にしてほしい。(5件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年間の実証運行では平日と休日を同じルートで運行していましたが、休日の収支率は平日より低く、廃止も検討されました。同じルートにしてもルートはわかりやすくなりますが、収支率が伸びると考えにくく、休日の本格運行に向けて平日と休日の統一は困難であると考えています。</li> </ul>
3	東部、特に、東山住宅への乗り入れを廃止すべきでない。(3件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の実証運行の結果から見直し基準を踏まえた評価・分析を行うと⑤ルートにおいては、バス停の利用者数が少ないことから持続可能な運行をするのは困難なため廃止となります。</li> </ul>

4	<p>ルート⑤の設定が住民のニーズに合っていないかった、東西を結ぶルートに変更すべき。 (5件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度、利用者が需要予測を下回り、また収支率も目標を大きく下回っていた休日運行については、取り止めも検討しましたが、アンケート調査や市民意見をもとに協議会・分科会で検討し、現在のルートで実証運行を行っております。</li> <li>また、東西移動の利用者には、乗り継ぎ利便性の向上をはかるため、1日乗車券を導入し、往復利用料金での移動が可能となっております。</li> </ul>
---	--	--

C バス停 2件

市民意見		考え方
1	<p>日曜・祝日も市立病院前で乗り降りできるようにしてほしい。(1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスのバス停の利用を検討します。</li> </ul>
2	<p>新しい休日ルート案は所要時間長いがゆえ、また遅延が多く発生し結果として客離れが進むと危惧しています。その対策として利用客が大幅に指標を下回っている駅の廃止や統合もしくは当コースの短縮化が全ルートにおいてさらに必要と考えます。(1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の案は1時間のパターンダイヤではなく、約90分に1本の運行を行う計画になっており、ダイヤについてもゆとりの持ったダイヤを検討していきます。休日に関しては1年間の実証運行であるため、来年度も基準に基づいたルート、バス停の評価・見直しを行います。</li> </ul>

D 運行ダイヤ 3件

市民意見		考え方
1	<p>日祝ルートは本数が少ない割に、阪急バスの既存路線と運行時刻が被るので、併用しづらいし、遠回りで所要時間がかかりすぎる。(1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オレンジゆずるバスと路線バスは役割分担により共存共栄を図るため、競合関係ではなく、共存関係として、継続的にバスサービスの向上が図られるように連携しており、可能な限りダイヤの調整もしていきます。</li> </ul>
2	<p>地域が主体的に利用者数増加等に向け努力をしている「如意谷地区」のダイヤを優先させた組み立てを希望します。(1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り利用者の利便性を考えたダイヤの設定を行います。</li> </ul>
3	<p>日・祝ルート現行案5便を6または7便への増便を切望します。(1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・便数の増加はこれまでの実績・評価から困難であると考えます。</li> </ul>

E 運賃制度 2件

市民意見		考え方
1	阪急バスで通勤利用していると「環境定期制度」が利用できるのもので、一乗車100円でどこまでも乗れる。一方、オレンジゆずるバスは200円。土日祝は阪急バスの方がかえって安くなる。(1件)	・現在、はんきゅうグランドパス65や阪急スクールパスはオレンジゆずるバスでも利用できます。また乗り継ぎ利便性の向上をはかるため、1日乗車券を導入し、往復利用料金で何回も乗降車しながらの移動が可能となっております。
2	日曜日、土曜日も含めて、阪急バスの定期券(区間問わず)を持っている人には運賃を大人100円、子供は50円、もしくは無料にするというのはいかがでしょうか。(1件)	・現在、はんきゅうグランドパス65や阪急スクールパスはオレンジゆずるバスでも利用できます。乗り継ぎ利便性の向上をはかるため、1日乗車券を導入し、往復利用料金で何回も乗降車しながらの移動が可能となっております。

F 車両 1件

市民意見		考え方
1	小型車両は車内が狭いし挙動も悪いしイスの座り心地悪いので、車内居住性が悪い。(1件)	・オレンジゆずるバスでは、よりきめ細やかに運行を行い、利便性を確保するため、狭小な道路を通るルートを設定していることから、車両は小型化せざるを得ない状況です。そのため、座席の数も少なく乗車人数も限られておりますので、ご理解をお願いします。

G その他 7件

市民意見		考え方
1	市民と商業者で支えるサポーター制度を。(1件)	・協議会のなかでもサポーター制度について議論しております。現在、箕面市内の81店舗の商業者のかたにオレンジゆずるバスのサポーター店として登録していただき、バス利用者への特典を提供していただいております。
2	車内アナウンスやバスの扉開閉などで高齢者に優しい配慮を(1件)	・車内アナウンスについては、運行ルート変更に伴い見直します。 ・バスの扉開閉については、阪急バスと協議を行っていきます。
3	生活圏・生活スタイルの変更を促す「利用促進の施策」を各方面の関係課・関係者とともに行うべき。(1件)	・オレンジゆずるバスの情報は、観光情報チラシなどにも掲載されており、関係課・関係者とも連携をとりながら、利用促進を行っており、今後も引き続き関係課・関係者と連携を取りながら進めていきます。

4	<p>交通政策課事業のなかで、バス利用促進に影響のある「かやの中央市営駐車場の高齢者料金無料」があるが、イベントなどの行事主催者など特定の利用に限定し、日中活動はバス利用へと結びつけることも大切だと思います。</p> <p>(1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• かやの中央駐車場については、東急不動産㈱が指定管理者として管理業務を行っており、そのなかで障害者や高齢者に対する割引サービスを行っているものであります。バスの利用促進の1つとしてサポーター店制度を行っておますが、イベントとの連携に関しましても、検討していきます。</li> </ul>
5	<p>買い物は近くのスーパーで済ませることができ、大きい買い物は千里中央(豊中市)や梅田に出る。かやの中央に行く機会がない。(1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オレンジゆずるバスは箕面市内を走るバスでありますので、箕面市内でお買い物ができるようなルートに設定しています。</li> </ul>
6	<p>利用率を上げるために、まず人の動きを調査すべき。(1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• これまでも市民アンケート調査、バス利用者アンケート調査、バス乗降調査を実施しており、この結果を踏まえて、協議会や分科会で検討を行い、休日の運行計画(素案)を作成しております。</li> </ul>
7	<p>山麓線に平日の朝オレンジゆずるバスの回送バスが頻繁に通りますが、この回送バスの1便を山麓線から箕面駅行きとして活用していただけないでしょうか。(1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 朝の回送バスは、出発地へ向かうバスであり、予備車ではないため、そのバスを活用することは困難であります。</li> </ul>